

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市児童生徒肥満対策運営委員会
事務局 (担当課)		学校保健課 電話 0 4 2 - 8 5 1 - 3 1 0 6 (直通)
開催日時		平成 3 1 年 3 月 1 4 日 (木) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 4 時 3 0 分
開催場所		けやき会館 3 階 第 1 中会議室
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)
	その他	0 人
	事務局	2 人 (峰岸総括副主幹、武田主事)
会議次第		<p>1 出席者の自己紹介</p> <p>2 委員長・副委員長選出</p> <p>3 あいさつ (委員長、副委員長)</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 平成 3 0 年度肥満対策事業結果について</p> <p>ア 肥満検診</p> <p>イ 栄養指導</p> <p>ウ 肥満精密検診</p> <p>エ 栄養指導実施報告</p> <p>(2) 平成 3 1 年度肥満対策事業について</p> <p>ア 肥満検診等</p> <p>イ 栄養指導等</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 平成 3 0 年度尿糖陽性者精密検診結果について</p> <p>イ 2 0 2 0 年度以降の肥満対策事業について</p>

相模原市児童生徒肥満対策運営委員会委員出欠席名簿

	氏 名	選 出 区 分	備 考	出欠席
1	大山 宜秀	相模原市医師会 学校医		欠席
2	永井 完侍	相模原市医師会 学校医		欠席
3	青山 宏太	相模原市医師会 学校医		出席
4	土肥 直樹	相模原市医師会 学校医		欠席
5	富川 盛光	相模原市医師会 学校保健担当理事	委員長	出席
6	政木 尚美	相模原市栄養士会		出席
7	水谷 好男	相模原市立小中学校 P T A 連絡協議会		欠席
8	沢辺 雅子	小学校校長会	副委員長	出席
9	上西 雅己	中学校校長会		出席
10	高井 博美	小学校保健養護研究部会		出席
11	林 典枝	中学校保健養護研究部会		出席
12	中野 実代子	小学校栄養研究部会		出席
13	荒井 哲也	学校保健課長		出席

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

荒井学校保健課長からあいさつの後、次第に沿って進行した。

「相模原市児童生徒肥満対策運営委員会設置要綱第4条2項」に基づき、委員長は富川委員、副委員長は沢辺委員が選出された。

富川委員長により以後の議事が進められた。

【議 題】

(1) 平成30年度肥満対策事業結果について

ア～ウ及びオについては事務局より、エについては相模原市栄養士会の政木委員より実施報告を行った。

< 質疑応答及び委員の意見 >

市内の緑区に肥満児が多い傾向があり、その要因は通学がバスであること、友達の家同士が遠いため、遊びに行かないことなどがある。未成年の間に太っていると、その後改善が難しいので、この時期に改善することが大切である。

過去、児童クラブでのお菓子が多量に提供されているとの問題があったが、今回の報告で児童クラブに通っている子どもより、通っていない子どもの方が、摂取カロリーが多いとの結果であったが、何か変化があったのか。

○児童クラブでのお菓子の量には変化は見られないが、保護者が気にかけて、摂取量を制限している様子である。

○小学校1年生の時点で高度肥満になっている児童が複数いたと報告があったが、就学前の児童について、乳幼児健診等で把握することは可能か。

○最初に市の検診にくるのが3歳半検診になる。そこからの食事量と運動量で変わってくると思うが、検討したい。

○そもそも、学童でのおやつの提供は必要なのか。

○保護者が迎えにくるまでお腹が空くので、与えているようである。お迎えの時間によっては、与えない選択肢を取っているところもあるようである。

(2) 平成31年度肥満対策事業について

事務局より来年度の肥満対策事業について説明を行った。

< 結果 >

事務局案で承認。

今後、希望者からの回答を学校保健課で収集するかどうか、検討する。

< 質疑応答及び委員の意見 >

○学校を介さない方法で周知等をしてほしい。思春期の子どもなので、担任からお知らせを渡す際にも気を遣うところであり、受け取りの際も同様である。

事務局としては、学校の定期検診の一環で行っている事業であること、学校保健課で取り扱うことができる個人情報の範囲が肥満検診の希望者になっていることから、従前のやり方を変更することは難しいと考える。

○学校からお知らせを出すことは、学校検診で結果に異常があった人へ通知することと同じことではないか。病気がある可能性を踏まえての受診勧告であるため、他人に分からないよう情報管理に配慮して、通知すればよいのではないか。

また、学校から対象者へお知らせするのであれば、希望者からの回答を収集することは学校保健課でも可能ではないか。

(3) その他

ア及びイについて、事務局より実施報告を行った。

< 質疑応答及び委員の意見 >

○小学校について、4月すぐに肥満度で抽出するのは難しい。

また、データ入力も間に合わない。

過年度データに関しては、平成31年度に、全小学校のデータ入力を支援する予定であり、肥満度での抽出は2020年度からと考えている。中学校は成長曲線が導入されるまでは、従前どおりのローレル指数で抽出する。

以 上